

第 32 回国際キワニス日本地区年次総会高松大会

平成 20 年 9 月 5 日（金）第 32 回国際キワニス年次総会が全日空ホテルクレメント高松を会場に開催されました。海外から Brian Cunat 元国際会長夫妻（米国）、Chia-Sing Hwang ASPAC 選出国際理事夫妻（マレーシア）、金 顕洙（Hyun Soo Kim）元国際理事（韓国）、Teo Nicolais 元国際キークラブ会長（米国）が参加されました。

前日 4 日に「キワニスの明日を語る会」がサンポート高松第 54 会議室にて開催され、19 クラブから 46 名が参加し、積極的な意見交換が行われました。5 日には総会に先立ち、朝食会、歴代ガバナー会議、第 3 回日本地区役員会が開催されました。

年次総会は清重尚弘ガバナーが議長となり開催され、国歌演奏、清重ガバナーの挨拶、ゲストの紹介の後、横山太蔵事務総長の進行により下記の議題が審議され、承認されました。なお、日本地区規約第 41 条により 28 クラブのうち、26 クラブの代議員の出席を得ており、定足数を越えておりますので、総会は有効に成立しました。



第 1 号議案 平成 21 年 9 月期「事業計画書」並びに「予算書」

横山太蔵事務総長より説明、提案どおり議決されました。

なお、「会員増強とクラブ新設」の項目中会員増強目標については午前開催の役員会で平成 20 年 9 月期の目標と異なる次の目標が定められました。

- 1 会員 25 人未満のクラブは最低 25 人を確保する。
- 2 同 25 人以上のクラブは 5%以上の純増を図る。

「幼児最優先」を「子ども最優先」に改め、さらにドール活動等これまでの活動に加え、KJF（キワニス日本財団）の設立に伴いその資金により地区内各クラブの行なう奉仕活動への助成を行なうことと海外での奉仕活動へも資金を提供しうることを加えました。

「予算書」については、KJF 設立に必要な基金拠出 3 百万円を計上しました。

第 2 号議案 平成 21 年 9 月期「役員・監事」の選任

来年度のガバナーは東京クラブの大堀太千男氏、次期ガバナーには西宮クラブの小池和子氏、事務総長には横山太藏氏が再任、監事には埼玉クラブの坂本和穂氏、副ガバナーは各デヴィジョンで選出された方々がそれぞれ選出されました。

第 3 号議案 第 34 回日本地区「年次総会開催地」

第 34 回日本地区年次総会すなわち 2010 年の地区総会は京都で開催することが議決されました。

第 4 号議案 高松大会決議

1. YCPO（子ども最優先）のキワニス奉仕活動を推進しよう。
2. 会員の増強とクラブ新設を進めることにより、キワニス活動に賛同する仲間を増やそう。
3. 一人ひとりがキワニスの広報活動を進めよう。
4. 国際キワニス年次総会オーランド大会の決議に沿い、多様性を尊重し、相互理解を育むクラブ環境を作りだすべく活動しよう。

cf. YCPO: Young Children Priority One

原案どおり決議されました。

報告事項 平成 20 年 9 月期「事業経過報告」並びに「決算見込み」が事務総長より報告されました。なお、最終報告は 10 月の役員会に提出する旨の報告もなされました。議了。



大堀太千男 2008-09 ガバナーから「日本のキワニスの抱える問題は、知名度が低い、会員の高齢化、国際的人材の不足等あるが、多様性のある活動で克服していきたい。しかし恵まれない子どものための奉仕と言う目的は変わらず、感動と喜びをもって奉仕する仲間を迎えていきたい。そのためにもキワニスのない県にキワニスの組織を広めていきたい。」との決意表明がありました。

来年の年次総会開催地の山口毅福岡クラブ会長から会期の短縮等新機軸で計画しているので多数の参加を歓迎したい旨の発言がありました。

引き続き、表彰式が行われました。表彰内容については平成 20 年 9 月期事業報告書を参照ください。最後に金沢クラブ杉本会員に対し、故令夫人のご遺志による寄付に対する感謝状の贈呈が行われました。



日本キワニス文化賞
保多織り伝統工芸士 岩部卓雄



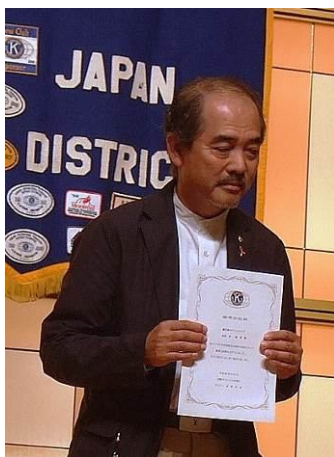
後藤文化委員長



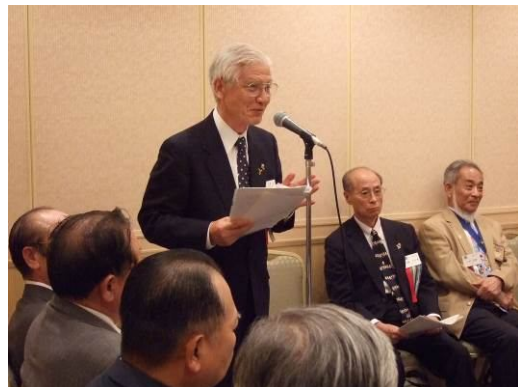
アワード贈呈 (京都クラブ)



(西宮クラブ)



(鹿児島クラブ)



表彰式終了後、大堀 2008-09 ガバナーを囲んで次期地区役員、監事、地区委員長、クラブ会長ミーティングが行なわれました。